

第1回小諸新校再編実施計画懇話会

日時：令和2年12月17日（木）

18時～19時30分

会場：小諸市市民交流センター

会議室1・2・3

次第

1 開 会

2 県教育委員会挨拶

3 自己紹介

4 小諸新校再編実施計画懇話会について

（1）「懇話会」開催の趣旨について

（2）今後のスケジュール及び専門会議について

5 座長選出

6 会議事項

（1）「高校改革～夢に挑戦する学び～」について

① 実施方針

② 再編・整備計画【一次】

③ 小諸新校の学校像

（2）質疑応答及び意見交換

7 その他

次回の予定

【日時】 令和3年1月25日（月）18時～19時30分

【場所】 小諸市市民交流センター 会議室1・2・3

【内容】 アドバイザーによる講演会及び意見交換

【アドバイザー】 大正大学 地域創生学部 浦崎 太郎 教授

8 閉 会

小諸新校再編実施計画懇話会 構成員名簿

	区分	氏名	所属等
1	自治体	田中 尚公	小諸市 副市長
2		小林 秀夫	小諸市教育委員会 教育長
3		市川 美香	北佐久郡町村教育委員会連絡協議会 御代田町教育委員
4	産業界	塩川 秀忠	小諸商工会議所 副会頭
5		柴崎 晋輔	小諸青年会議所 理事長
6		清水 信	さくさく農園 代表
7	学識 経験者	西村 廣一	元小諸高校・小諸商業高校校長
8	地域	甘利 庸子	のぞみグループ 代表取締役社長
9		山下 千鶴子	小諸市社会教育指導員
10		吉沢 久	佐久地域振興局 局長
11	同窓会	高見澤 敏光	小諸商業高等学校同窓会 会長
12		鷹野 昭裕	小諸高等学校同窓会 会長
13	P T A	土屋 壮亮	小諸市P T A連合会 会長
14		北澤 隆司	小諸商業高等学校P T A 会長
15		土屋 竹志	小諸高等学校P T A 会長
16	学校 関係者	福澤 みゆき	小諸市校長会 会長
17		鹿取 俊彦	小諸市内中学校代表 校長
18		岩本 秀幸	小諸商業高等学校 校長
19		原 周一郎	小諸商業高等学校 教諭
20		寺島 克彦	小諸高等学校 校長
21		金子 房夫	小諸高等学校 教諭
22	生徒	小口 貴子	小諸商業高等学校 生徒会長
23		佐藤 大輝	小諸商業高等学校 生徒会副会長
24		小林 あやの	小諸高等学校 生徒会長
25		柳澤 海里	小諸高等学校 生徒会副会長

事務局

小諸商業高等学校		小諸高等学校		高校再編推進室	
藤澤 雅道	(教頭)・事務局長	倉下 直	(教頭)・副事務局長	上原 浩子	主幹指導主事
原 周一郎		金子 房夫		上原 一善	主任指導主事 (小諸新校担当)
中村 幸司		坂口 俊夫			
松澤 美晴		井出 玲子			
植原 崇裕		甲田 健			

新校再編実施計画懇話会開催要綱

(目的)

第1 県教育委員会が、統合新校ごとの再編実施計画を策定するにあたり、再編対象校に加えて、対象校が所在する地域の意見を聴くため、「新校再編実施計画懇話会」（以下、「懇話会」という。）を開催する。

なお、懇話会は、地方自治法第138条の4第3項の規定に基づいて、設置された附属機関ではないものとする。

(会議事項)

第2 懇話会は、次の事項について意見交換を行う。

- (1) 学校像、教育方針等に関する事
- (2) 校地・施設・設備等に関する事
- (3) 管理運営等に関する事
- (4) 教育内容等に関する事
- (5) その他、県教育委員会が必要と認める事項に関する事

(構成員)

第3 懇話会の構成員は、統合対象校の学校関係者（校長、教職員等）、地域の代表（自治体関係者、産業界の代表等）、同窓会、PTA、生徒の代表等とし、必要に応じ、県教育委員会が依頼する。

2 会議に座長を置く。

(開催期間)

第4 会議は統合新校が開校するまでの間、開催するものとする。

附 則

この要綱は、令和2年11月26日から施行する。

第1回 小諸新校再編実施計画懇話会

2020年（令和2年）12月17日
小諸市市民交流センター
会議室1・2・3



学び応援キャラクター「信州なび助」
©長野県教育委員会信州なび助

1

◆第1回 小諸新校再編実施計画懇話会

▶ご参集の皆様へのお願い

- ①マスク着用
- ②手指消毒
- ③体温測定
- ④ソーシャルディスタンスの確保
- ⑤会議時間 1時間30分(90分間)



学び応援キャラクター「信州なび助」
©長野県教育委員会信州なび助



外出控え



密集回避



密接回避



密閉回避



換気



咳エチケット



手洗い

2

◆第1回 小諸新校再編実施計画懇話会

【本日の次第】

- 1 開 会
- 2 挨 拶
- 3 自己紹介
- 4 小諸新校再編実施計画懇話会について
- 5 座長選出
- 6 会議事項
- 7 その他
- 8 閉 会



3

◆第1回 小諸新校再編実施計画懇話会

1 開 会

2 挨 拶

3 自己紹介



4

◆第1回 小諸新校再編実施計画懇話会

4 小諸新校再編実施計画懇話会について

- (1) 「懇話会」開催の趣旨について
- (2) 今後のスケジュール等について



5

(1) 「懇話会」開催の趣旨

(目的)

再編実施計画を策定するにあたり、対象校が所在する地域の意見を聴くため、「新校再編実施計画懇話会」を開催

(会議事項)

①学校像、教育方針 ②校地・施設・設備 ③管理運営、教育内容

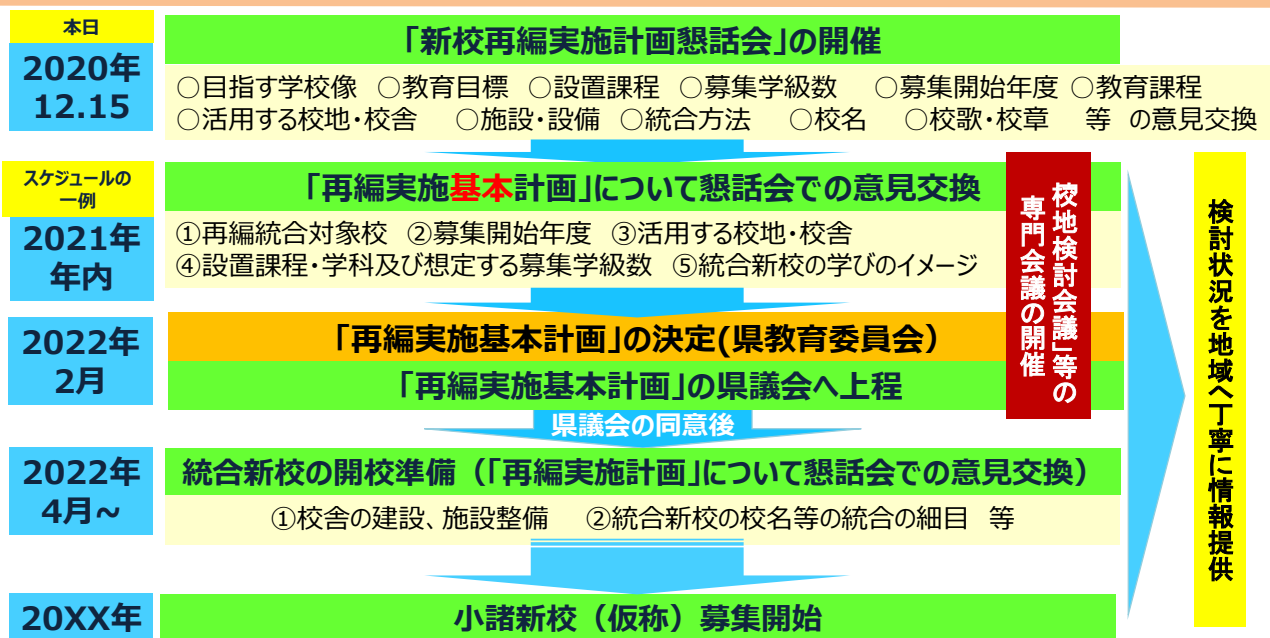
(構成員)

- ①学校関係者（校長、教職員等）
- ②地域の代表（自治体関係者、産業界の代表等）
- ③同窓会、PTA、生徒の代表 等
- ④学識経験者

(開催期間)

新校が開校するまでの間

(2) 今後のスケジュール等



◆ 第1回 小諸新校再編実施計画懇話会

5 座長選出



■ 第 1 回 小諸新校再編実施計画懇話会

6 会議事項

(1) 「高校改革～夢に挑戦する学び～」の説明

- ① 実施方針
- ② 再編・整備計画【一次】
- ③ 小諸新校の学校像

(2) 質疑応答及び意見交換



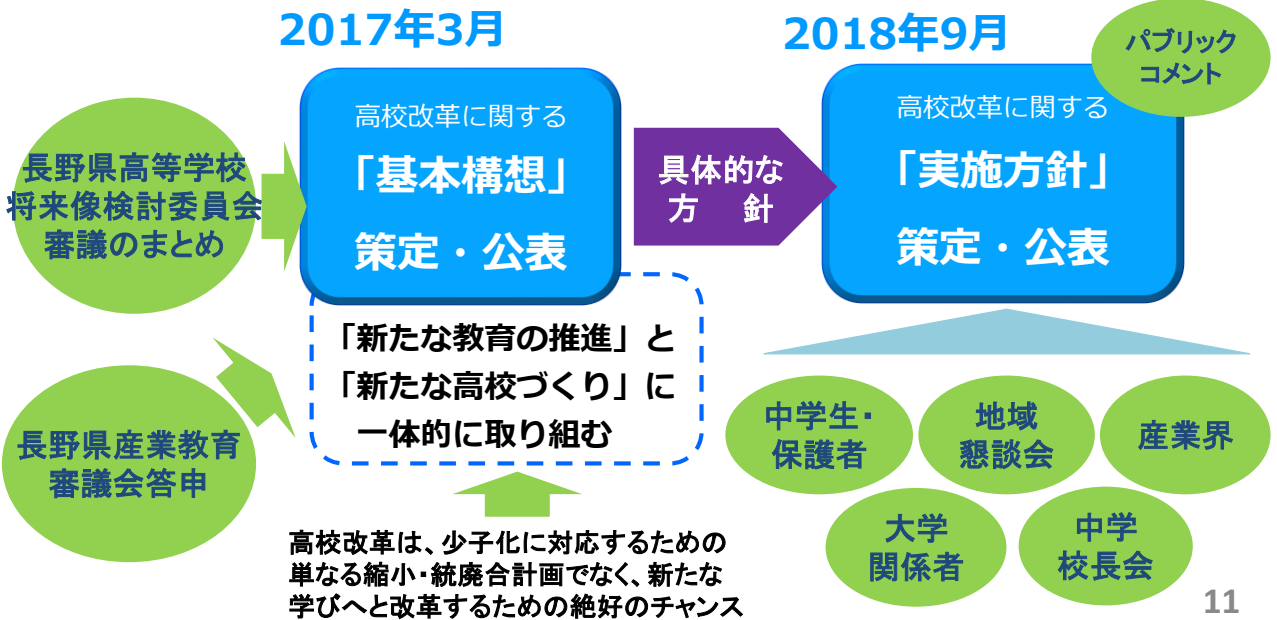
9

「高校改革～夢に挑戦する学び～」

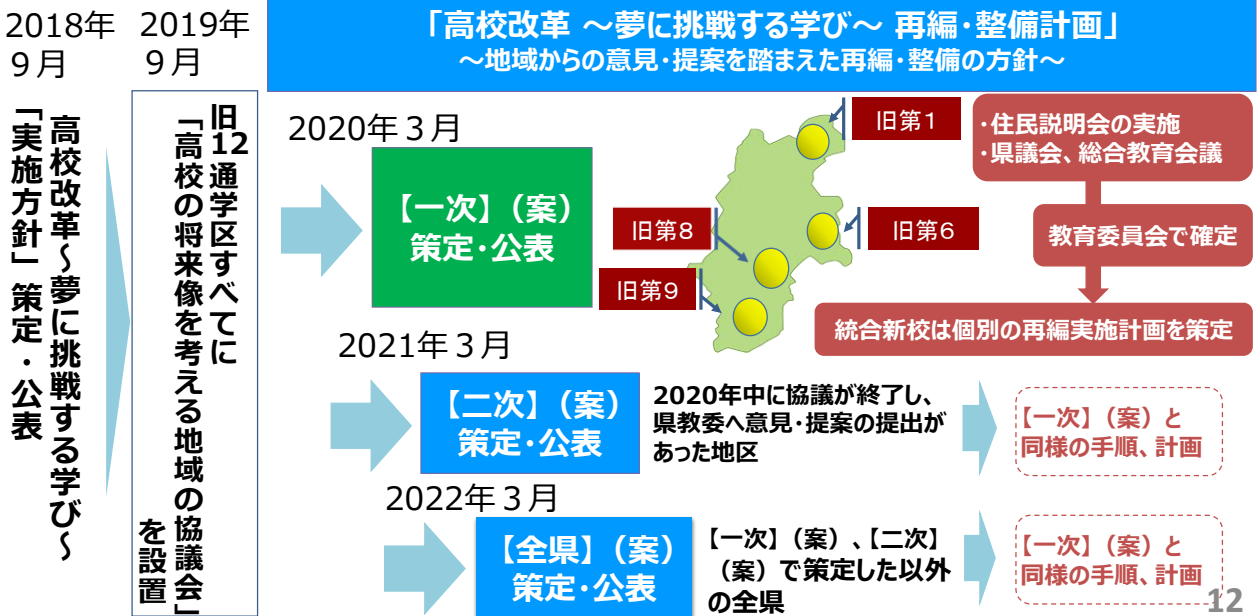


10

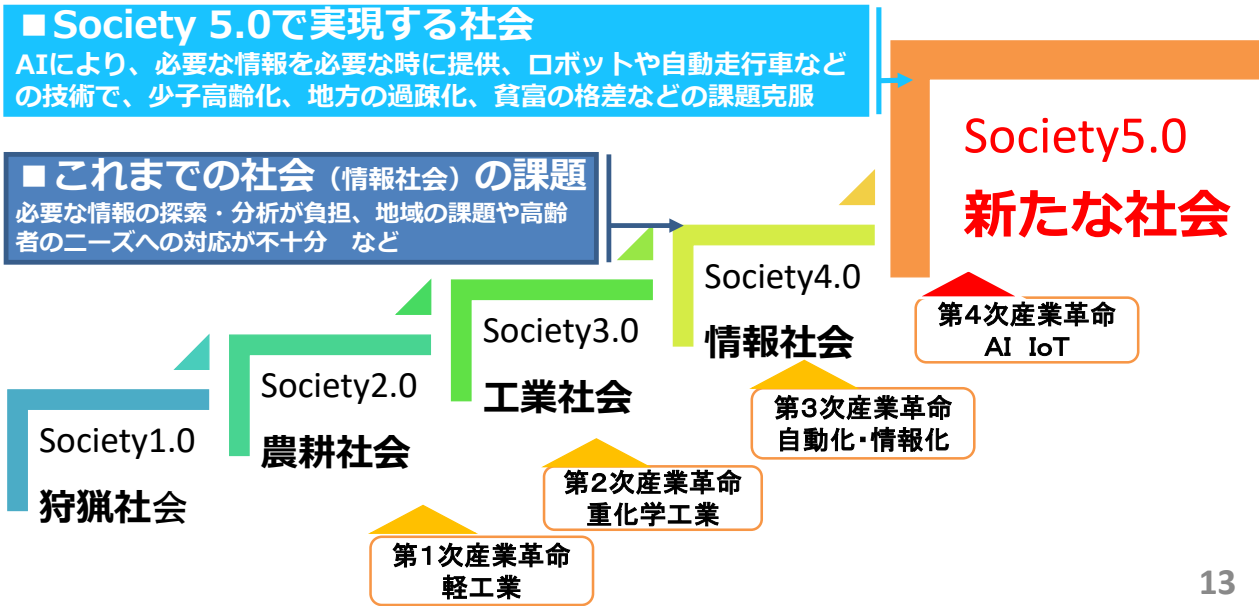
これまでの経緯



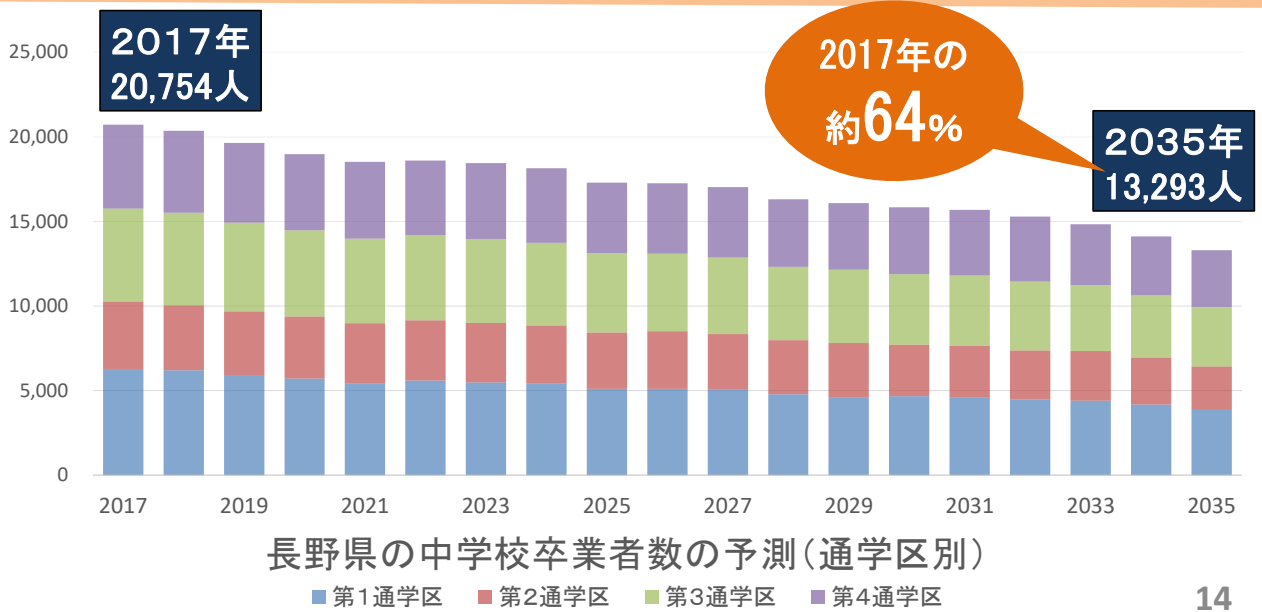
「再編・整備計画」全体のスケジュール



今なぜ高校改革か① ～激変する社会への対応～



今なぜ高校改革か② ～進行する少子化への対応～



「実施方針」～高校改革が目ざすもの～

次代を担う子どもたちのための「学びの改革」

すべての県立高校で推進

激変する社会への対応

新たな学びの推進
(学びの質を充実)

進行する少子化への対応

新たな高校づくり
(学びの基盤を整備)

将来にわたって高校教育の学びの質を保障

15

「実施方針」～6つの方針～

すべての生徒が自らの夢を見つけ、夢に挑戦する学びの実現

新たな学びの推進
(学びの質を充実)

方針1 すべての高校が
新たな学びへ転換

方針2 多様な学びの場、学び
の仕組みを整備充実

方針3 新たな学びに
ふさわしい環境を整備

新たな高校づくり
(学びの基盤を整備)

方針4 さらなる少子化の進行
に的確に対応

方針5 多様な学びの場を
全県に適切に配置

方針6 「再編・整備計画」を
確定し計画的に整備

「実施方針」～新たな学び①～

方針1 すべての高校が新たな学びへ転換

- 「探究的な学び」の推進
(主体的・対話的で深い学び)
- 3つの方針の策定と運用
(グランドデザイン)
 - ① 生徒育成方針
 - ② 教育課程編成・実施方針
 - ③ 生徒募集方針
- 高校入試制度改革 など

「探究的な学び」のプロセス

課題設定 → 情報収集 → 整理分析 → まとめ表現

フィールドワーク

グループワーク

プレゼンテーション



「探究的な学び」を通して大切にされること

知識・技能の活用

思考力・判断力・表現力

仲間との協働

「実施方針」～新たな学び②～

「探究的な学び」のイメージ

これまでの学び (例)



講義型の授業

知識・技能を間違えずに習得、必要に応じて活用

新たな学び (例)



探究的な学び
(主体的・対話的で深い学び)

知識・技能を活用し、正解のない課題に向き合い、チームとして協働しながら解決していく

県立学校学習空間デザイン検討委員会 最終報告

当たり前とできてきた「教室」と「校舎」のつくり ⇒ 改革します！

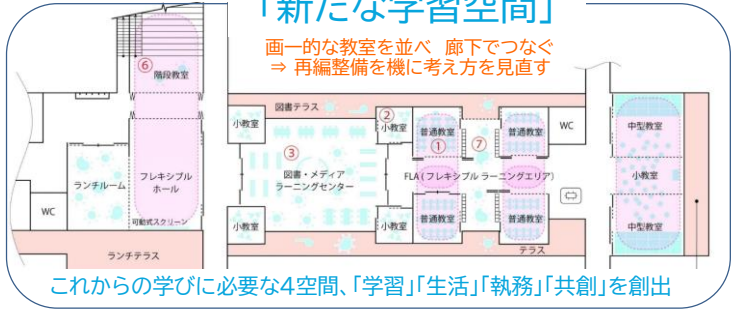
「新たな学び」



「自律的な学び」+「協働的な学び」
(教え合い・学び合い)

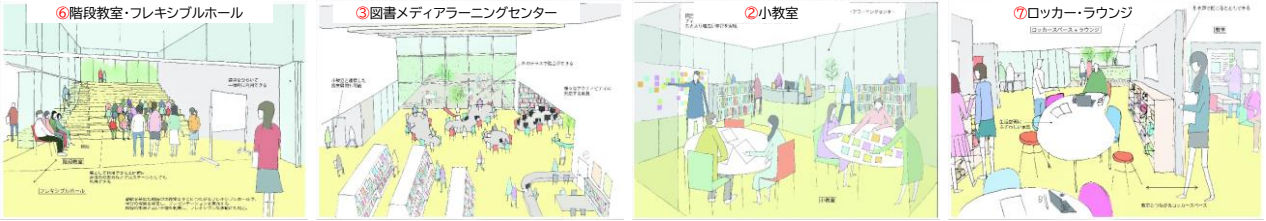
「新たな学習空間」

画一的な教室を並べ、廊下でつなぐ
⇒ 再編整備を機に考え方を見直す

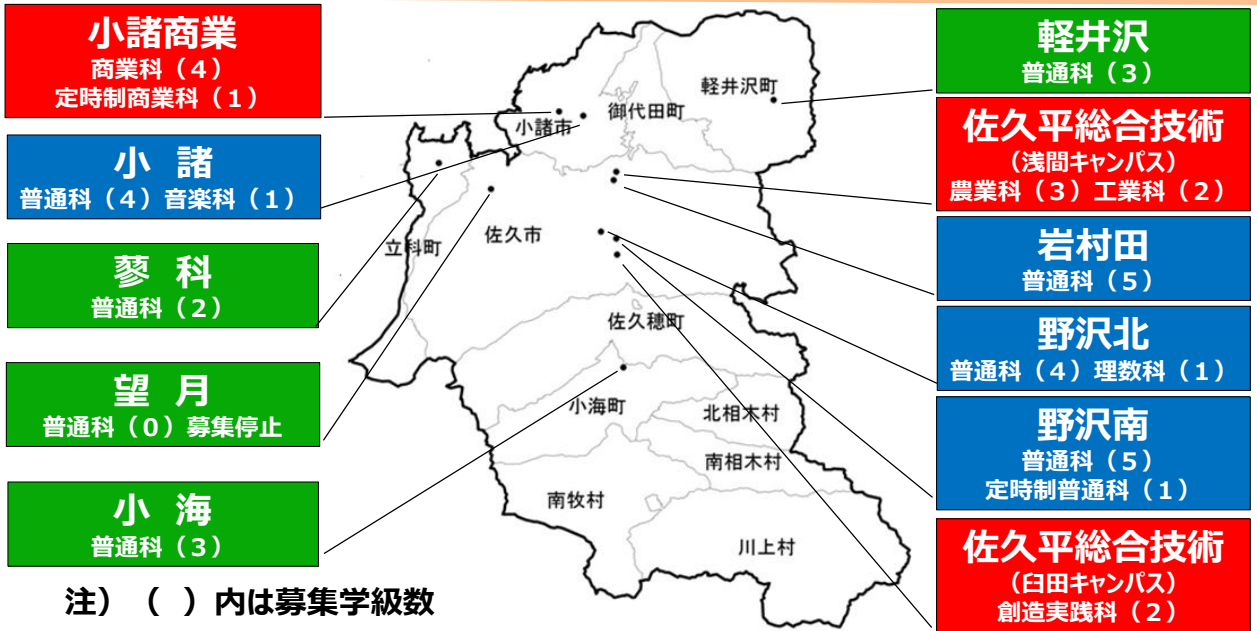


これからの学びに必要な4空間、「学習」「生活」「執務」「共創」を創出

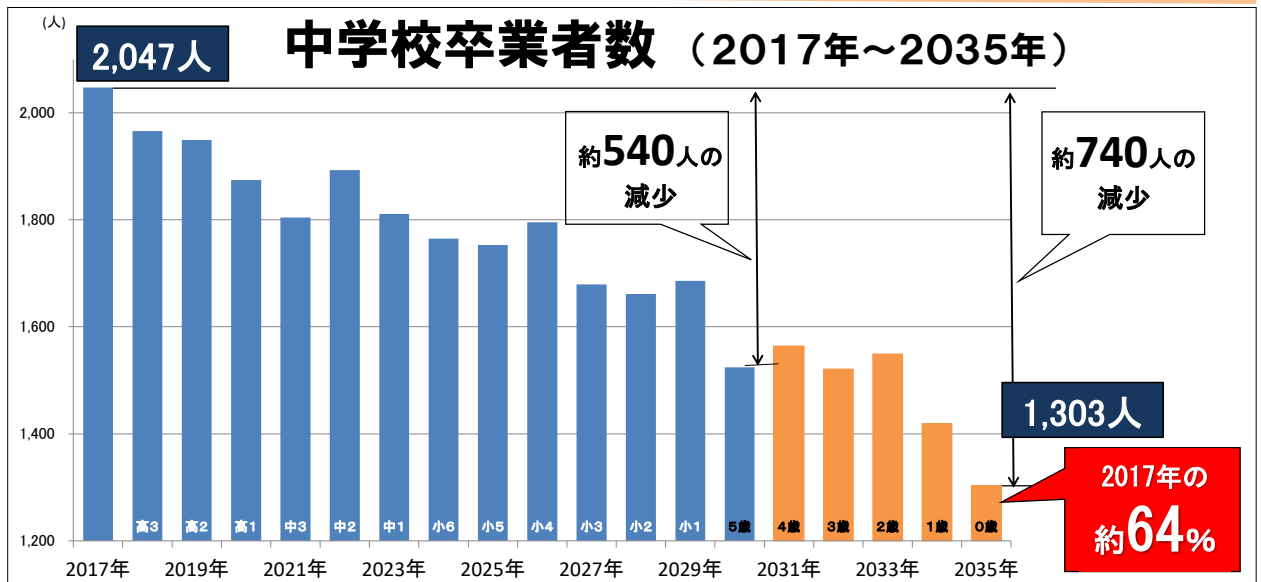
「一体的な高校改革」を推進



旧第6通学区(佐久地域)の高校配置(2020年度)



旧第6通学区(佐久地域)の少子化の状況



旧第6通学区(佐久地域)の再編計画の方向

○中学生の期待に応える学びの場を整備する

○再編の実施を前提に高校の将来像を考える

これらの観点を踏まえ…

規模の大きさを活かした都市部存立校の配置

学びの場の保障の観点を踏まえた中山間地存立校の配置

※「実施方針」p.41より 23

旧第6通学区(佐久地域)の「協議会」からの意見提案

①学びのあり方

◇中学生の期待に応える

○探究的な学びの実践、特色ある教育課程の整備 等

◇地域の活力を生み出す

○地域の高校はまちづくりの核、地域と高校の協働による課題解決 等

②環境整備

○新たな学びに対応する校舎整備とトイレ、暖房等の改善

③高校配置

◇都市部の高校…一定規模の維持

○希望進路への対応、多様な自主活動の場

◇中山間地の高校…学びの場の存続

○地域の特色を活かした学び



※「意見提案」p.4～p.8より 24

旧第6通学区(佐久地域)の再編・整備方針

佐久エリアの学びのリソース



地域の中学生の期待に応える学び

新時代の学びのモデル

- “時代の最先端に触れる学び”
- “地域の「ホンモノ」に触れる学び”

地域の活力を生み出す学びの場

持続可能なまちづくりの核

都市部の高校

- 規模を活かした学校づくり
- “切磋琢磨”

中山間地の高校

- 地域と連携した学びの充実
- “地方創生”

旧第6通学区(佐久地域)の高校配置 (20XX年度)

“未来のクリエイター育成校”

小諸新校 (仮称)

(小諸高校と小諸商業高校の再編統合)

蓼科

普通科

“Newタイプの通信制”

望月サテライト

普通科

小海

普通科

軽井沢

普通科

佐久平総合技術 (浅間)

農業科・工業科

岩村田

普通科

“未来のリーダー育成校”

佐久新校 (仮称)

(野沢北高校と野沢南高校の再編統合)

佐久平総合技術 (臼田)

総合学科

※定時制課程の配置については、2022年(令和4年)に策定・公表する「再編・整備計画[全県](案)」で示す

小諸商業高等学校・小諸高等学校の統合に向けた実行委員会

- ① 名 称 小諸商業高等学校・小諸高等学校の統合に向けた
実行委員会
- ② 会 長 高見澤敏光 小諸商業高等学校同窓会長
- ③ 構成員 15名（顧問1名・オブザーバー〈地元議員〉2名）
- ④ 事務局 小諸商業・小諸高校同窓会、小諸商高校教頭
小諸市（総務部企画課、教育委員会）
- ⑤ 実行委員会設立までの経緯
○小商・小諸高校同窓会（小諸市）連絡会 平成29年3月10日～
○実行委員会 平成29年12月21日～令和元年11月5日
- ⑥ 提案書提出 令和2年2月6日

27

小諸商業高等学校・小諸高等学校統合に向けた実行委員会

「長野県小諸新校」構想 提案書

小諸商業高等学校と小諸高等学校の統合による新たな高校のあり方

■理念・方針：キーワードは「**ホンモノ**」

基本理念

- ① 「協働」する学び
- ② 「本物」に触れる学び
- ③ 「実社会」をフィールドにした学び

新たな社会を
創造する一員
として活躍す
る生徒を育て
る

小諸商業高等学校・小諸高等学校統合に向けた実行委員会

「長野県小諸新校」構想 提案書

小諸商業高等学校と小諸高等学校の統合による新たな高校のあり方

教育方針

① 地域をフィールドとした協働的・探究的な学び

☞課題発見力、探究力の伸長 ☞地域の発展に貢献できる人

② コミュニケーション能力や多様な観点から考察する力を育む学び

☞グローバルな視点と感覚 ☞クリティカル・シンキングとデザイン思考

③ 主体的な学びを通して、未来を切り拓く力の養成

☞自分の可能性への気づき ☞より大きな夢に向かって挑戦する人

小諸商業高等学校・小諸高等学校統合に向けた実行委員会

「長野県小諸新校」構想 提案書

小諸商業高等学校と小諸高等学校の統合による新たな高校のあり方

学びの仕組み

① 地域のリアルな「ホンモノ」の課題に触れる経験を通じた学び

☞生きる力を育み地域創生に繋がる学び ☞デュアルシステムの充実

② 学科横断型学習による学科の枠を超えた幅広い学びの提供

☞異なる価値観、専門性を持つ仲間との協働 ☞複眼的思考

③ 個別最適化された学習支援システムによる基礎学力の定着

☞一人一台タブレット、先端技術（EdTech等）の活用 ☞遠隔授業導入

小諸商業高等学校・小諸高等学校統合に向けた実行委員会

「長野県小諸新校」構想 提案書

小諸商業高等学校と小諸高等学校の統合による新たな高校のあり方

学びを支える仕組み

① 小諸コンソーシアム構想

- ・地域創生のためのコンソーシアム
- ・高校を中心とする地域すべてが学習のフィールドとなる仕組みの構築
- ・地域、企業、市町村、大学、短大、近隣の小中高等学校等

② 新しい学びに対応する教育環境の整備

- ・地域と施設設備を共有（体育館、音楽ホール等）
- ・ICT環境の整備
- ・コーディネーター、アドバイザー
- ・インクルーシブな学校づくり

小諸新校(仮称)

多学科併設校の新たなカタチ。仲間とともに課題に多方面からアプローチ！

■ 徹底的に地域協働！地域の未来を創造するクリエイターを育成する高校

学科横断型カリキュラム
+
社会貢献プロジェクト

新たな価値の創造

Social
Innovation

Business
Frontier

Music
Creation

■ 新たな発想とネットワークで社会課題を探究
・教科の学びを、地域課題解決につなげる人材育成
・普通科目中心のカリキュラム

■ 新たなビジネス分野を切り拓いていく実践
・新たな発想やアイデアを形にできる人材育成
・商業専門科目中心のカリキュラム

■ 音楽を通じて豊かな生活を創造する学び
・音楽で、自分とまちをプロデュースする人材育成
・音楽専門科目中心のカリキュラム

パーソナリティをいかし、地域とかがわり、地域の未来をクリエイト
共学(Harmony)：新たな発想とアイデアで音楽のある街づくりに貢献

未来を創造する高校

地域協働コンソーシアム構築
地域の持続可能な学びと発展を支える仕組み

長野県立大学等

小諸商店街

戸原・小諸東中学校等

音楽を通じた街づくりに貢献

小学校での「商品開発」講座

小諸未来義塾での発表

◆第1回 小諸新校再編実施計画懇話会

6 会議事項

(1) 「高校改革～夢に挑戦する学び～」の説明

- ① 実施方針
- ② 再編・整備計画【一次】
- ③ 小諸新校の学校像

(2) 質疑応答及び意見交換



33

◆第1回 小諸新校再編実施計画懇話会

7 その他

【次回の予定】

- ◆日時：令和3年1月25日（月）18:00～19:30
- ◆会場：小諸市市民交流センター 会議室1・2・3
- ◆内容：アドバイザーによる講演及び意見交換
- ◆アドバイザー：大正大学 浦崎太郎 教授

8 閉会



34

「長野県小諸商業高等学校〔全日制課程〕の『3つの方針』」

1 「生徒育成方針」

本校は、東信地区で唯一の商業専門高校として、3年後、就職・進学にかかわらず、社会で活躍できる人を育てます。

そのために、以下の力を育成します。

- (1) ビジネスマナーの基礎を身につけることで挨拶・礼儀の大切さを知り、経済社会の中で生きていく力を身につけます。
- (2) 修得した知識・技能・態度により、自らの課題を発見し、その解決に向けて主体的・協働的に取り組む力を育成します。
- (3) 地域連携を促進することにより、多様な人々と目標に向かって協力する力を高めるとともに、他者と協働しながら学びあう中で、コミュニケーション能力を高めます。

2 「教育課程編成・実施方針」

本校では、以下のような特色ある教育を提供します。

- (1) 生徒の進路に対応した二つの小学科を設置しています。
 - ① 会計システム科…企業会計や情報処理、語学を中心に学び、経営に生かせる能力と態度を育て、さらに発展的な内容を学ぶための大学進学等に力を入れます。
 - ② 商業科…広く商業科目を学び、社会で活躍することのできる能力と態度を育て、興味関心に合わせ、幅広い進路選択に対応します。
- (2) 他者と協働して変化の激しい社会を自ら切り拓いていく力を育成するために地域連携を充実させます。
 - ① 地元企業等との連携強化（丸山珈琲・上田信用金庫・戸塚酒造・小諸市役所 等）
 - ② 教育機関等との連携促進（大原学園・小諸市内の小学校 等）
- (3) 「小商版デュアルシステム」（学校での座学と企業での実習を組み合わせる新教育システム）を実施します。
- (4) 「スマイル小商店街」（販売実習）を通して商取引の実際を学ぶとともに、コミュニケーション能力・挨拶・礼儀等を習得させます。
- (5) 数学・英語では、少人数単位での習熟度別授業により、確かな学力を育むためのきめ細やかな指導を実施します。

3 「生徒募集方針」

本校では、以下のような皆さんの入学を待っています。

- (1) 基本的な生活習慣が身についているとともに、商業の学習に興味・関心が高く、入学後も意欲的に学習する意志のある皆さん
- (2) 商業の専門知識を修得できる本校において、資格取得にも意欲的に取り組み、地域のリーダーとして、積極的に社会に貢献する意欲のある皆さん
- (3) 主体性をもって多様な人々と協働して学ぼうとする意欲のある皆さん
- (4) 部活動や生徒会活動、地域活動等に積極的に取り組む意欲のある皆さん



【重点目標】

- 様々な活動を通して、「元気・やる気・根気」を育てる。
- 基本的な生活習慣の確立及び挨拶・身だしなみ等の徹底を図る。
- 自ら課題を発見し、その解決に向けて主体的・協働的に取り組む力を育成する。
- 地域と連携しながら、様々な人々やグループと共感し、社会性・協調性を育む。
- 生徒一人ひとりの人権を尊重し、いじめ・体罰のない安心・安全な学校をつくる。

商業科の強みを生かした特色ある教育を提供します。

【二つの小学科】
生徒の進路に対応した
商業科・会計システム科

【小商版デュアルシステム】
地域企業と連携した長期間の
就業体験学習

【スマイル小商店街】
販売実習・地域交流等を通じた、
コミュニケーション能力・挨拶・
礼儀等の習得

【金融教育研究校】
経済や消費生活等に関する
学びの実践

【地域連携の充実】
高等教育機関・地域行政・
企業等との連携による
キャリア形成支援・
人材育成支援

【習熟度別授業】
数学・英語のきめ細やかな指導の実施

小商キャリアプランニング推進計画

学びの基礎となる実践的・体験的な学習活動

1年次

- 基本的な生活習慣やマナーの習得
- 基礎学力の定着と学習習慣の確立
- コミュニケーション能力の育成

2年次

- 各教科における知識の定着・技能の向上
- 進路についての探究学習の実施
- 課題対応力・実践力の向上

3年次

- 高度な専門知識・技能の修得
- 多様な人々との連携・協働による学びの充実
- ライフプランの検討

主体的・対話的で深い学びの具体的な実践事例

- 起業家教育の基礎を学ぶ
- 日本政策金融公庫等外部機関との連携

- コース制による専門性の追求
- 資格取得への挑戦

- 課題解決型学習への取組
- 地域企業・自治体・各種教育機関等との連携

東信地区の新たな時代を切り拓く

東信地区で唯一の商業専門高校として社会で活躍できる人材を育成

『長野県小諸商業高等学校[定時制課程]の「3つの方針」』

1 「生徒育成方針」

- (1) 商業教育を通して、職業人として必要な技術を身に付け、社会に貢献する態度と意識を養います。
- (2) 義務教育段階の学び直しに力を入れ、基礎学力の定着を図り、社会で生きる力を養います。
- (3) 就労しながら学ぶ中で、勤労観・職業観を養い、社会の一構成員としての自覚と責任感を身に付けます。
- (4) 多様な人達の存在を受け入れ、また様々な年代の人達と関わり、コミュニケーション力を育みます。
- (5) 地域社会と積極的に関わり、地域とともに学びあうことで、自己有用感を育てます。

2 「教育課程編成・実施方針」

- (1) 【学び直しと基礎学力の定着】
 - ・英数国を中心に、義務教育段階の学び直しに力を入れます。
 - ・商業科目において、計算実務や文書作成、社会マナー・ビジネスマナーの基礎学習を進めます。
- (2) 【商業教育と勤労観・職業観の涵養】
 - ・商業の専門科目の基本を学び、社会で働くために必要な力を身に付けます。
 - ・資格試験の取得を通し、確かなスキルと自信を身に付けます。
 - ・在学中の就労とキャリア教育を組み合わせ、働くことへの意欲を高めます。
- (3) 【地域および社会の教育資源の活用とソーシャルスキルの向上】
 - ・体験的活動やボランティア活動などに参加します。
 - ・地域資源や外部講師を積極的に活用します。
 - ・人と関わるトレーニングやグループワークを積極的に行います。

3 「生徒募集方針」

- (1) 商業科で学ぶ目的意識を持ち、資格取得に意欲的な生徒
- (2) 人間関係や就労経験を通し、自立することを目指す生徒
- (3) 人と人との関わり合いを大切にし、集団生活の中で思いやりの気持ちを持てる生徒



人與人 人と社会をつなぐ夜間定時制高校

『長野県小諸商業高等学校 [定時制課程] のグランドデザイン』



本校の
特色

- 県内唯一の商業科設置の定時制高校です
- 義務教育段階の学び直しに力を入れます
- 仕事をしながら学校に通う環境を整えます
- 働くために必要な様々なスキルを学びます
- 地域とともに学びあう環境づくりや体験的活動に力を入れます
- 小規模の落ち着いた環境で学ぶことができます

あなたに寄り添い
あなたを支える
そんな場所が
ここにある



入学時

基礎学力を身につけたい

初めて学ぶ商業科目で心機一転

社会的自立を目指したい

いろいろな人と関わりたい

学ぶ

- 英数国を中心とした学び直し
- ICTを活用したわかる授業
- 商業科目を中心とした資格取得

働く

- 学校と職場との連携
- ソーシャルスキルトレーニング
- ビジネス教育による動機づけ

地域

- 地域と関わり学び合う
- 体験的活動の取り組み
- ボランティアへの参加

卒業時

社会に必要とされる人財になる

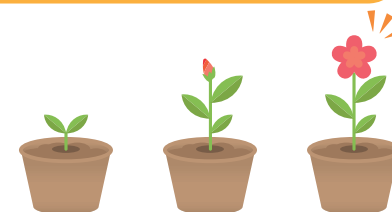
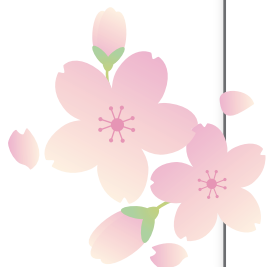
自分を愛し自分らしさを発見する

仕事に生きる確かなスキルが身に付く

社会貢献・地域貢献の思いが育つ

自分で考え自分で行動する力が育つ

地域・行政・教育委員会・中学校・同窓会・教育振興会・家庭



長野県小諸高等学校「3つの方針」

輝く未来 掴むのはキミだ！ 小諸高校生～伸びしろ無限大～

生徒育成方針

小諸高校は、生徒個々の可能性を最大限に伸ばし、新たな社会を創造する一員として、「**◎**」の態度を身につけ、将来をたくましく生き抜く生徒を育成します。

◎「志高く」

安易な妥協を許さず、高みを目指してひたむきに自己を磨き、更なる成長を求める主体的な態度を育成します。

◎「問題意識を常に持ち」

物事を多様な視点を持って観察・分析し、最善の方法を常に模索する態度や、地域や社会における課題にも目を向け、主体的に関わろうとする態度を育成します。

◎「労を惜しまない」

自身の未来を切り拓くとともに、よりよい社会を創造するため、労を惜しまず他者と協働して積極的に行動する態度を育成します。

教育課程編成・実施方針

小諸高校は「**◎**」の態度や能力を修得できるように、「本物に触れるリアルな学び」を基本に据えながら、以下の方針に基づいて教育課程を編成します。

- 1 確実に基礎的な学力を育成します。そのため、生徒ひとり一人の修得状況を把握し、個々に合わせたきめ細かな指導に生かします。ICTを活用し、学びの足跡の蓄積及び多面的・総合的評価を進めるとともに、確かな学力を身につけます。
- 2 文章や情報を正確に読み解き対話する力を育成します。そのため、学校図書館をラーニングセンターとして位置づけ、読書の習慣を身につけるとともに、日本語と英語の表現力を高め、自身が得た情報を整理・分析し、発信する力を育成する学習の機会を設定します。
- 3 自ら課題を発見し、それを解決していくための資質・能力を育成します。そのため、地域課題や希望する進路分野等を題材に、本物に触れる探究的な学習の機会を設定します。学びの成果を発表する場として、音楽科演奏会等を含む成果発表会を行います。
- 4 音楽科では、高い専門性を身に付けるため、国内外第一線で活躍する専門実技講師による個人指導で、本物を学びます。

生徒募集方針

小諸高校は、高校生活を通じて「**◎**」の態度や能力を身につけ、自身が描く未来を目指して、学習、生徒会活動、部活動、ボランティア活動等に積極的に取り組む生徒を募集します。

【普通科】大好きで拓く わたしの未来

- わたしの大好きを伸ばしたい。
- わたしの「好き」を見つけたい。

【音楽科】音楽で拓く わたしの未来

- 音楽が大好き
- 音楽でわたしを輝かせたい

輝く未来 掴むのはキミだ！ 小諸高校生 ～伸びしろ無限大～

基礎的な学力の育成

- ・ICTの活用で学びの足跡を蓄積し確かな学力を身に付ける
- ・主体的・対話的で深い学びを指向した授業改善
- ・多様な学びの形態をダイナミックに展開
 - …個人学習、ペア学習、グループ学習、クラスでの学習

文章や情報を正確に読み解き対話する力の育成

- ・始業直前の朝読書
- ・ラーニングセンターとして学校図書館を活用：紙もデジタルも
- ・見聞きして理解したことについて、話したり書いたりして表現する場面を各教科の学習で展開

自ら課題を発見し、解決していくための 資質・能力を育成

- ・本物に触れる探究的な学習の時間…ふれあい講座Ⅰ＆Ⅱ
- ・地域課題や希望する進路分野についての学び
- ・総合的な探究の時間の学習成果中間発表会・最終発表会
- ・生徒会主催による三者協議会（生徒、保護者、教員、地域）

地域に開かれた芸術活動を展開

- ・音楽科 校内演奏会／定期演奏会 等
- ・専門実技講師による音楽実技個人指導

【普通科】

大好きで拓く わたしの未来

- わたしの大好きを伸ばしたい
- わたしの「好き」を見つけたい

【音楽科】

音楽で拓く わたしの未来

- 音楽が大好き
- 音楽でわたしを輝かせたい

「好き」で輝く

わたしの未来。

さあ、小諸高校で

始めよう。



こ

志高く

本物に触れる
リアルな学び

も

問題意識を
常に持ち

ろ

労を
惜しまない

外部
との
連携

大学

地域

保護者

同窓会

地域の
事業所